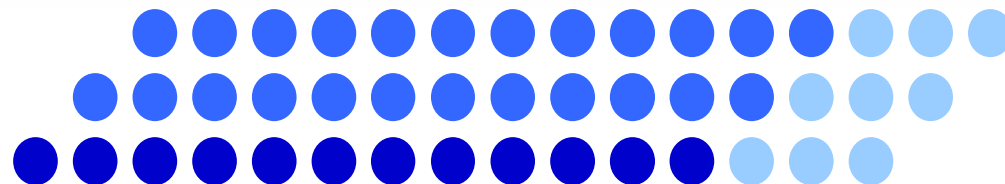


# 第16期 決算説明会

株式会社 **フォーバル テレコム**



June 2, 2011

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。  
又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

# 連結業績報告

(各期業績比較)

金額単位：百万円

	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	対前期 増減額  (増減率)
売上高	15,042	13,956	13,560	△ 396 -3%
営業利益	391	347	391	44 13%
経常利益	388	327	391	63 20%
当期純利益	133	194	155	△ 39 -20%

# 連結キャッシュ・フロー

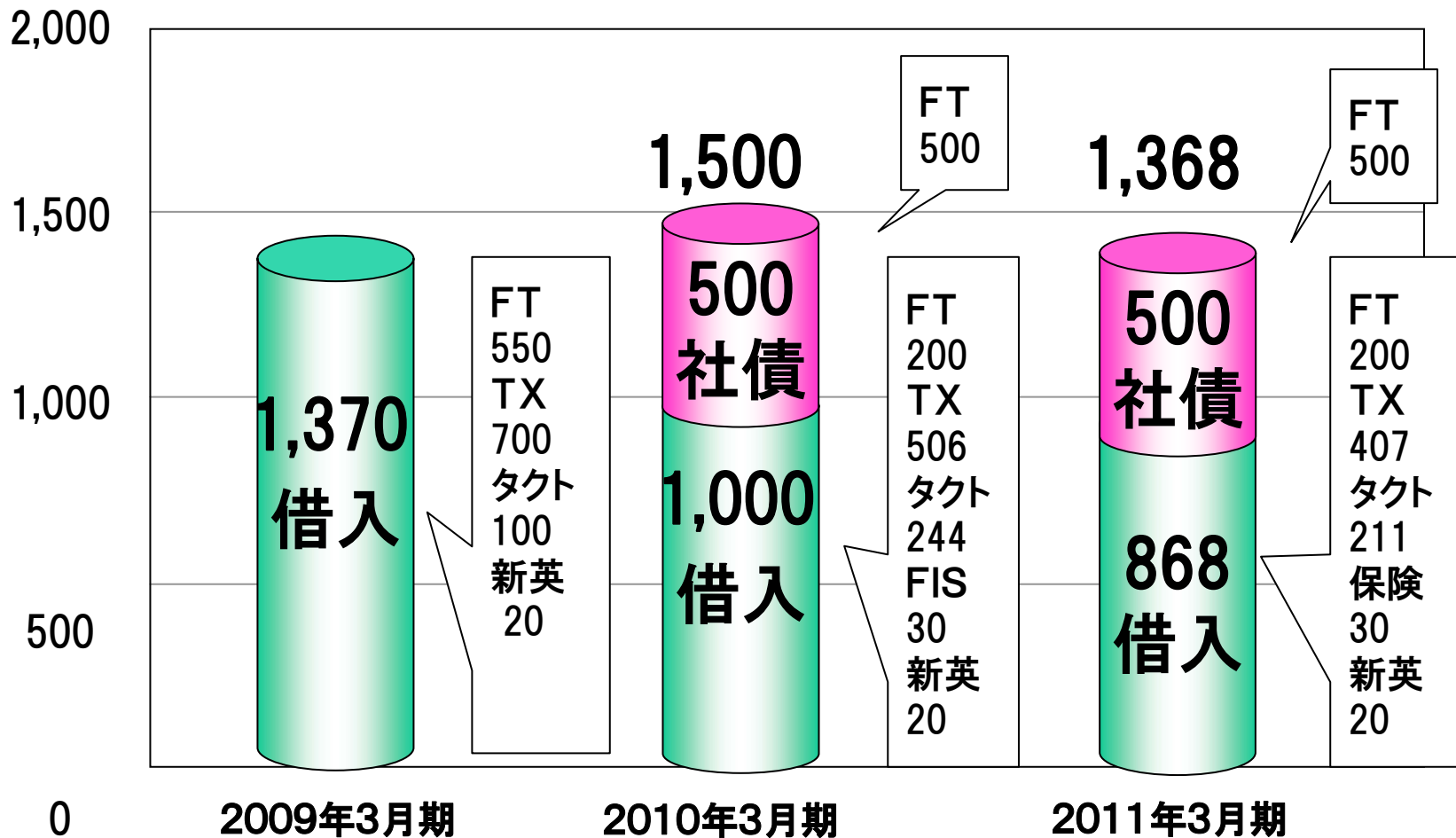
金額単位：百万円

	2010年 3月期	2011年 3月期	
	実績	実績	主要要因
A.営業活動によるCF	495	542	税金等調整前当期純利益177 減価償却費167 減損損失107
B.投資活動によるCF	△ 330	△ 17	
フリー・キャッシュフロー(A+B)	164	525	
C.財務活動によるCF	△ 142	△ 394	配当金△249, 借入金△132
D.現金及び現金同等物の増減	21	130	
E.現金及び現金同等物期末残高	1,591	1,722	



# 連結貸借対照表 (有利子負債)

金額単位：百万円



注：略称表示

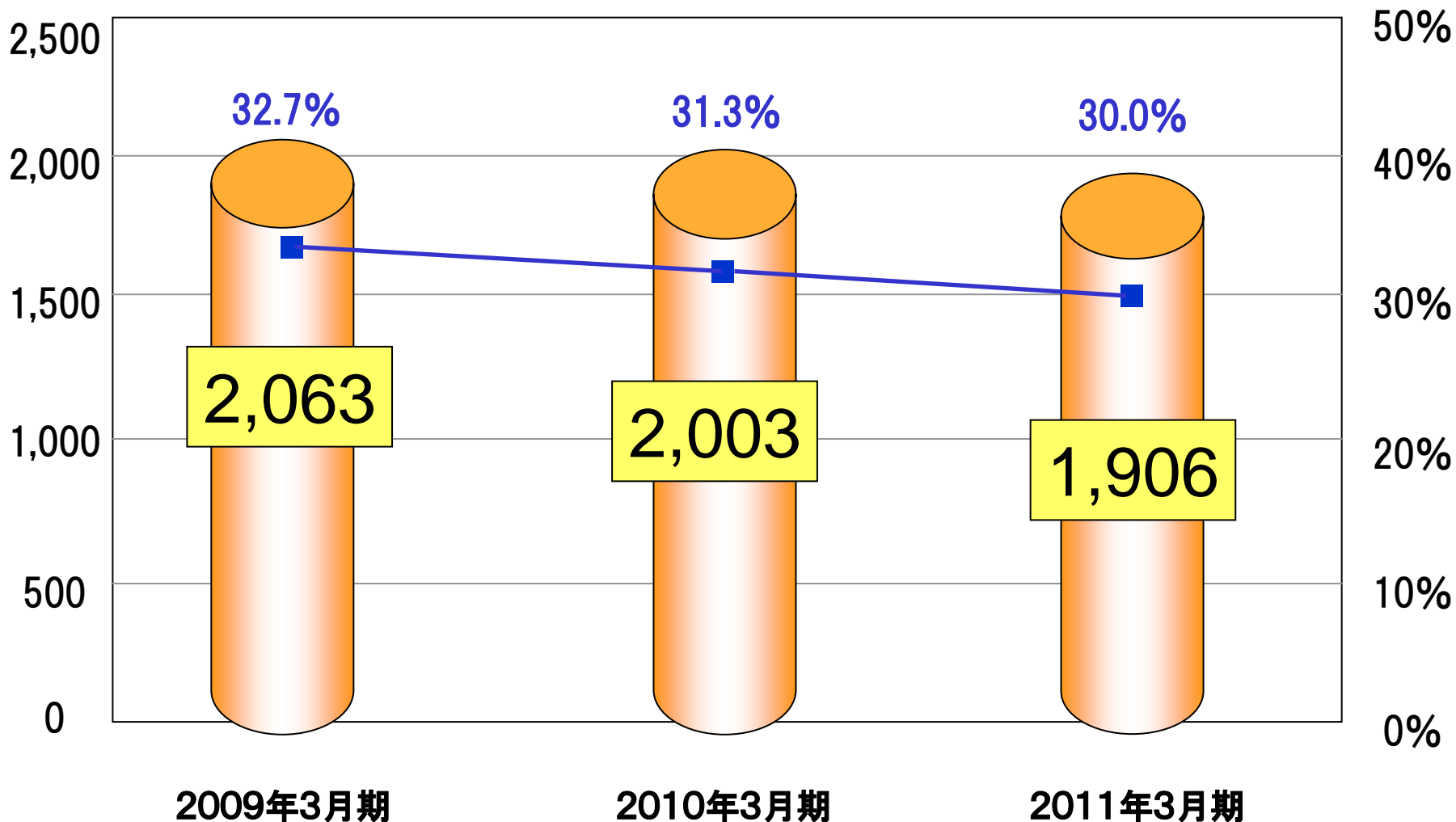
- ・ FT = フォーバルテレコム
- ・ TX = トライ・エックス
- ・ タクト = タクトシステム
- ・ 保険 = 保険ステーション
- ・ FIS = FISソリューションズ



# 連結貸借対照表 (自己資本・自己資本比率)



金額単位：百万円



注：自己資本 = 「株主資本」 + 「評価・換算差額等」



# セグメント

金額単位：百万円

		2010年 3月期	2011年 3月期	前期比
IP & Mobile ソリューション事業	売上高	10,923	10,344	△ 579
	セグメント利益	322	220	△ 101
ドキュメント・ ソリューション事業	売上高	2,334	2,453	+118
	セグメント利益	44	158	+114
コンサルティング事業	売上高	697	762	+64
	セグメント利益	48	71	+23
報告セグメント計	売上高	13,956	13,560	△ 396
	セグメント利益	415	451	+36
その他(※1)		△ 68	△ 60	+7
合計	売上高	13,956	13,560	△ 396
	営業利益	347	391	+44

注：会計基準の変更に伴い＜前期連結累計期間＞については、  
 ＜当期連結累計期間＞の表示に組替えております。  
 その他(※1) = セグメント間消去額及びのれん償却額



# 売上総利益

(連 結)

金額単位：百万円

	前期	当期		
	金額	金額	前期比増減	前期比 %
売上高	13,956	13,560	△ 396	△ 2.8
単体	10,767	10,139	△ 627	△ 5.8
子会社	3,188	3,420	231	7.3
売上総利益	2,172	2,397	225	10.4
単体	1,240	1,226	△ 13	△ 1.1
子会社	932	1,170	238	25.6
粗利率 (%)	15.6	17.7	2.1	
単体	11.5	12.1	0.6	
子会社	29.2	34.2	5.0	

# 売上総利益

(単 体)

金額単位：百万円

	前期	当期		
	金額	金額	前期比増減	前期比 %
売 上 高	10,767	10,139	△ 627	△ 5.8
ストック収益(課金)	8,485	8,170	△ 315	△ 3.7
ストック収益(その他)	468	493	24	5.3
一 時 収 益	1,814	1,476	△ 337	△ 18.6
売 上 総 利 益	1,240	1,226	△ 13	△ 1.1
ストック収益(課金)	951	895	△ 55	△ 5.8
ストック収益(その他)	137	217	80	58.1
一 時 収 益	151	113	△ 38	△ 25.2
粗 利 率 (%)	11.5	12.1	0.6	
ストック収益(課金)	11.2	11.0	△ 0.2	
ストック収益(その他)	29.4	44.2	14.8	
一 時 収 益	8.3	7.7	△ 0.7	



# 販売管理費

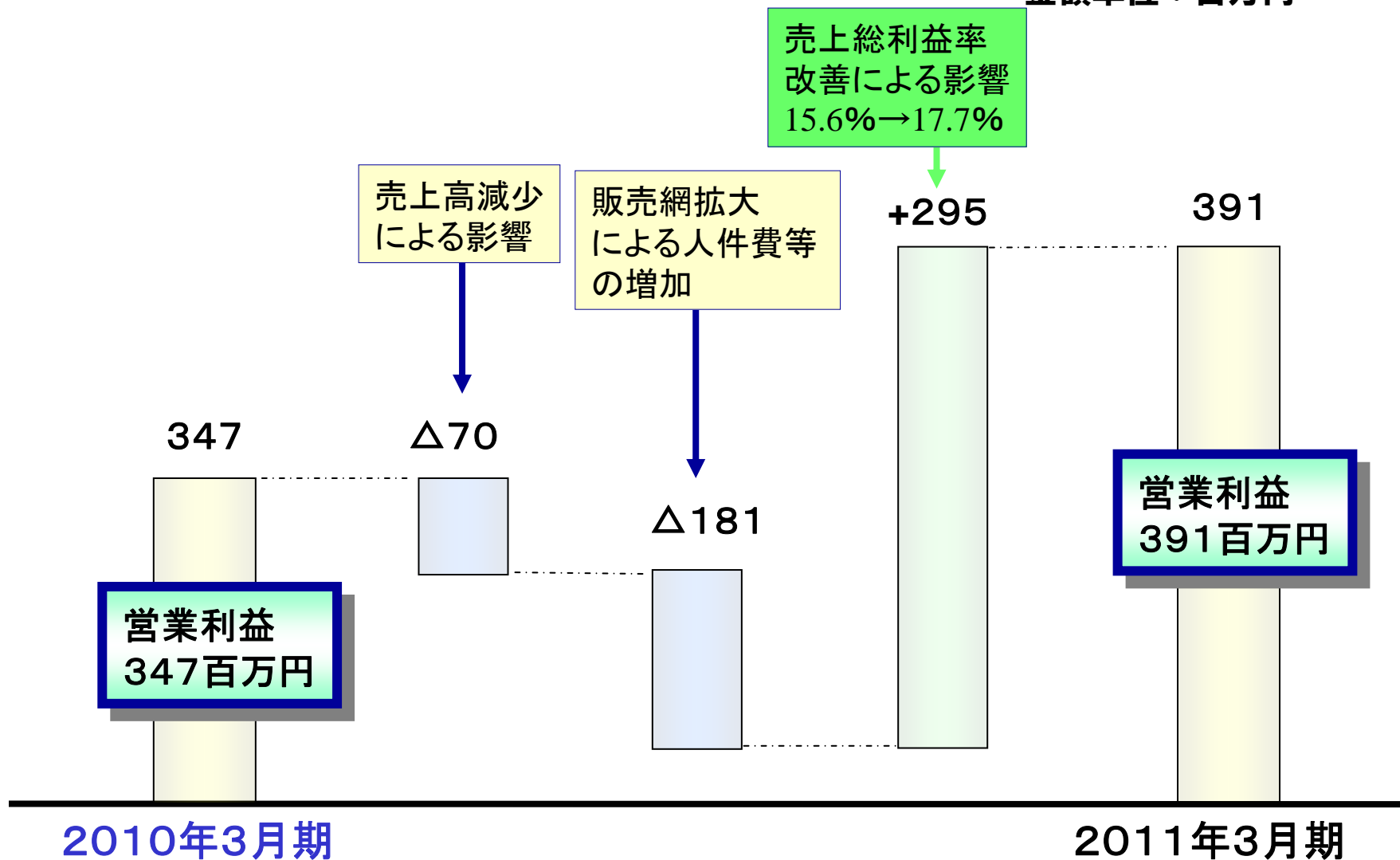
金額単位：百万円

	2010年3月期	2011年3月期	前期比	備考
販売促進費	30	29	△ 0	
貸倒引当繰入	39	43	4	
人件費	1,174	1,304	130	従業員+21名(年間平均) 他
情報処理費	118	126	8	
地代家賃	71	86	14	
委託業務費	32	30	△ 2	
のれん償却	64	62	△ 1	
その他	293	321	27	求人費+11 支払手数料+3他
合計	1,824	2,006	181	



# 営業利益の増減要因

金額単位：百万円



# 16期 概要



## ①売上高は前期比で微減(▲3%)となるも

「ドキュメントソリューション事業」「コンサルティング事業」の増収増益  
および子会社群の増収増益により

- 営業利益は前期比増(+13%)
- 経常利益は前期比増(+20%) となった。

## ②当期純利益は

「投資有価証券売却損43百万円」

「のれん減損損失 107百万円」を含めた特別損失217百万円の計上

がありました。税効果会計の適用に伴う会計上の税負担が

20百万円(前期比▲105百万円) となったことにより、

155百万円(前期比▲20%)に留まる。

## ③営業C/ Fは堅調に推移。



# 当社グループ概要図



株式会社フォーバルテレコム  
設立:1995年  
上場:2000年 東証マザーズ  
資本金:542百万円



株式会社FISソリューションズ  
通信機器・サービス販売  
資本金:25百万円



株式会社保険ステーション  
保険・助成金他、各種コンサルティングサービス  
資本金:17百万円



株式会社トライ・エックス  
ドキュメント・ソリューション・サービス  
資本金:78百万円



株式会社 新英  
ドキュメント関連商品の多品種少量  
・短納期生産  
資本金:10百万円



タクトシステム株式会社

タクトシステム株式会社  
DTP編集・制作サービス  
資本金:20百万円



タクトシステム／ベトナム  
DTP編集・制作サービス



株式会社ホワイトビジネスイニシアティブ  
FMCサービスの企画、  
及びハードウェアの開発  
資本金:50百万円



# 17期 課題



①注力サービスの強化

②震災によるマイナスの最小化

③販売網の拡充



# ①注力サービスの強化（2waySmart）-1

## 1)スマートフォンアプリのレベルアップ---マルチライン対応

### 「WBP Mobileマルチライン」

会社の固定電話が  
高性能携帯の画面に(短縮ボタンも)

◎従来のビジネスフォンに装備されている複数の機能とその操作手順をそのままスマートフォンにタッチパネルに再現しました。

◎スマートフォンでもオフィスの複数の外線を使った受発信・内線転送が可能です。

◎ビジネスフォンとスマートフォンの利用シーンを融合することで、通信機器の合理化が容易となります。



# ①注力サービスの強化（2waySmart）-2



## 2)新ハードの開発とリリース

### ➡ 小規模法人に対応するダウンサイズ機器の提供

スマートフォンをコードレス子機に利用できる簡単ブロードバンド対応小型主装置

#### 中規模 IP ビジネスホン

SS2000

7月8日出荷予定

SS824

10月初旬出荷予定

#### 小規模 IP ビジネスホン

SS510

8月下旬出荷予定



SS2000



SS824



SS510



# ①注力サービスの強化（2waySmart）-3

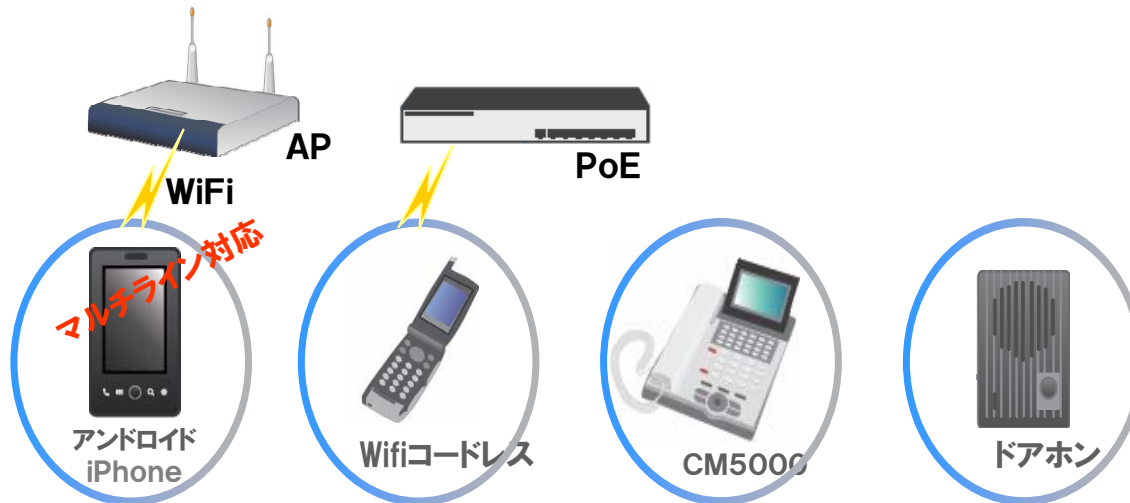


## SS824 仕様

接続端末数 24台



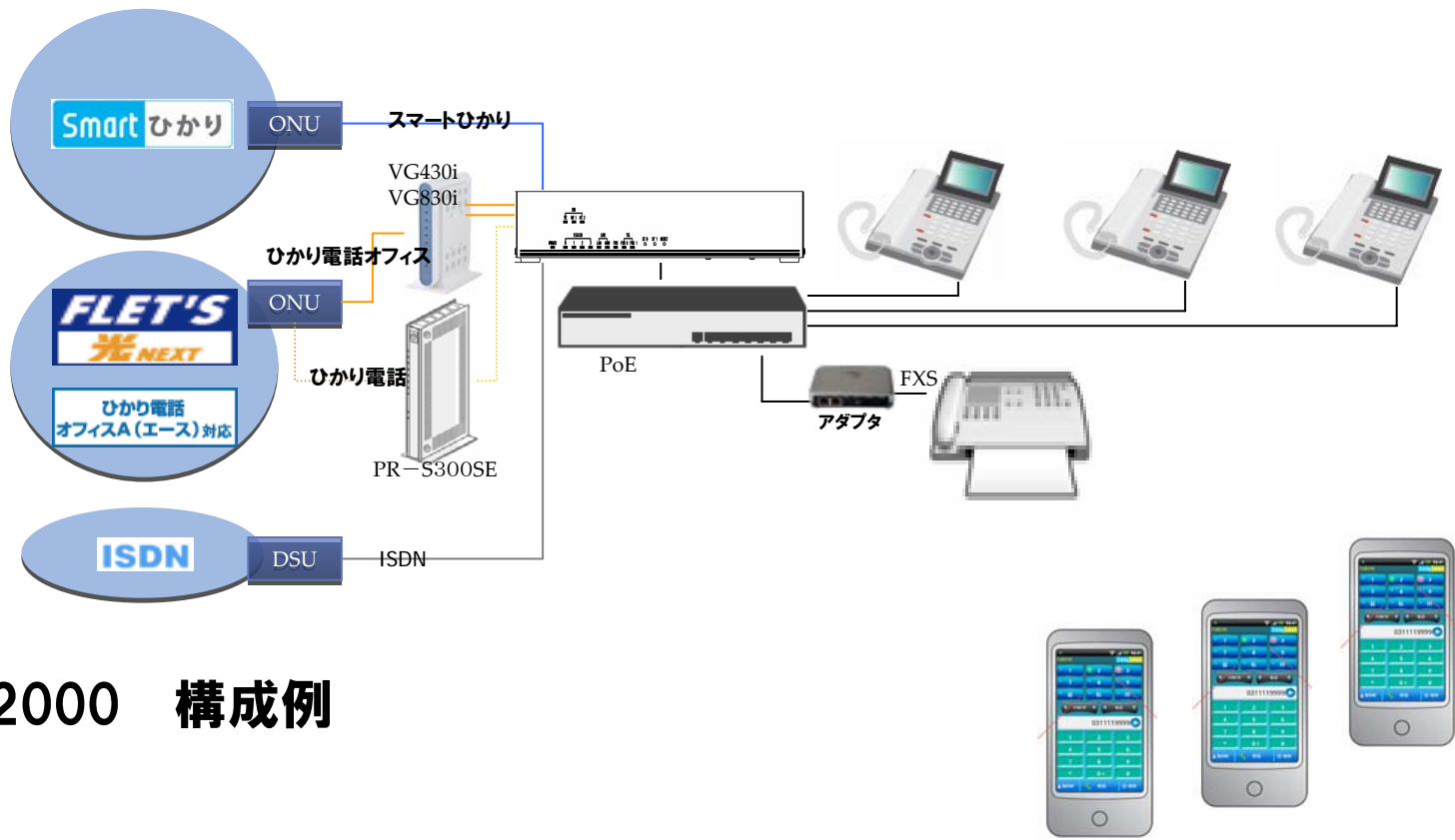
項目	スペック	備考
WANポート	10M/100M 1ポート	
LANポート	10M/100M 1ポート	PoE給電機能は無し
デジタル回線 (INS64)	3局線 (6外線)	U点1、S/T点1. U、S/T切替1
アナログ回線	2回線 (2外線)	
IP回線	8ch	ひかり電話、スマートひかり
SLI	2回線	単独電話機、G3Faxを接続
USB	USB2.0 1ポート	留守録・通話録音時間の拡張
本体寸法	232mm(W) × 38mm(H) × 168mm(D)	





# ①注力サービスの強化（Smartひかり）-1

## 1) Smartひかり のシステム構成



SS2000 構成例

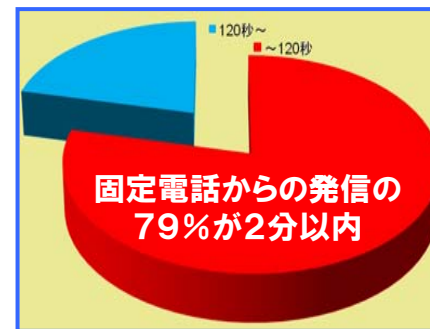


# ①注力サービスの強化（Smartひかり）-2

## 2)新価格でリリース

価格は税別料金です。国際料金については非課税です。

通話先	加入電話の通話料※1	スマートひかりの通話料	割引率
市内	8.5円/3分	全国一律 5.5円/2分	市内 最大35% off ※2
県内市外	20~40円/3分		県内市外 最大86% off ※3
県外	20~80円/3分		県外 最大93% off ※4
携帯	docomo 30円/60秒 au 30円/60秒 SoftBank 40円/60秒	全キャリア一律 16円/60秒	携帯 最大60% off ※5
国際	アメリカ本土 60円/60秒 中国 140円/60秒 韓国 110円/60秒	アメリカ本土 2.5円/60秒 中国 32円/60秒 韓国 31円/60秒	アメリカ本土 最大96% off ※6



※出展：社団法人電気通信事業者協会  
「テレコムデータブック2010(TCA編)」より

※1 市内通話・県内への市外通話についてはNTT東日本を、県外通話についてはNTTコミュニケーションズをご利用されているお客さまが、平日午前8時～午後7時の間に通話する場合。市内・県内市外・県外通話は3分、携帯・国際通話は60秒通話した場合の料金です。通話料は、通話時間が短い場合や割引サービスの加入状況等によって異なる場合があります。

※2 加入電話から市内(NTT東日本)へ2分かけた場合との比較です。

※3 加入電話から県内市外(NTT東日本、60kmを超える通話)へ2分かけた場合との比較です。

※4 加入電話から県外(NTTコミュニケーションズ、100kmを超える通話)へ2分かけた場合との比較です。

※5 加入電話から「0036」をつけずに携帯電話(NTTドコモ)へ60秒かけた場合との比較です。

※6 加入電話から海外(NTTコミュニケーションズ)へ60秒かけた場合との比較です。



# ①注力サービスの強化（Smartひかり）-3

## 「スマートひかり」と「ひかり電話オフィス」の比較

※通常ビジネスで使われている“ナンバーディスプレイ”と“ボイスワープ”を『利用する』で比較

■「ひかり電話オフィス」3ch2番号 比較表 ※ナンバーディスプレイ, ボイスワープ利用

	スマート ひかり	フレッツ光ネクスト／Bフレッツ	
		ファミリータイプ (ハイスピード含)	マンションタイプ プラン1(8契約以上) 光配線方式の場合
光ファイバー料金		5,200	3,800
ひかり電話拡張オプション *1	6,500	1,000	0
ISP料金(例)		1,200	950
ひかり電話オフィス料金		1,300	1,300
追加チャンネル		0	0
追加番号	0	100	100
ナンバーディスプレイ	0	1,200	1,200
ボイスワープ	100	100	500
<b>合計</b>	<b>6,600</b>	<b>10,100</b>	<b>7,850</b>
スマートひかりとの差額	-	3,500	1,250

\*1: ひかり電話拡張オプションは、「Bフレッツハイパーファミリー」でひかり電話オフィスを利用する際に必要なオプションです。  
「フレッツ光ネクスト」の場合は申し込み不要



# ①注力サービスの強化（Smartひかり）-4

## 「スマートひかり」と「ひかり電話オフィス」の比較

※通常ビジネスで使われている“ナンバーディスプレイ”と“ボイスワープ”を『利用する』で比較

■「ひかり電話オフィス」3ch2番号 比較表 ※ナンバーディスプレイ, ボイスワープ利用

	スマート ひかり	フレッツ光ネクスト/Bフレッツ	
		ファミリータイプ (ハイスピード含)	マンションタイプ プラン1(8契約以上) 光配線方式の場合
光ファイバー料金		5,200	3,800
ひかり電話拡張オプション *1	6,500	1,000	0
ISP料金(例)		1,200	950
ひかり電話オフィス料金		1,300	1,300
追加チャンネル		0	0
追加番号	0	100	100
ナンバーディスプレイ	0	1,200	1,200
ボイスワープ	100	100	500
グループ通話定額 *2	0	1,200	1,200
<b>合計</b>	<b>6,600</b>	<b>11,300</b>	<b>9,050</b>
スマートひかりとの差額	-	4,700	2,450

\*1: ひかり電話拡張オプションは、「Bフレッツハイパーファミリー」でひかり電話オフィスを利用する際に必要なオプションです。

「フレッツ光ネクスト」の場合は申し込み不要

\*2: グループ通話定額とは、利用者同士無料通話を利用する際に必要なオプションです。（「本社と支店」「事務所と店舗」など）

「スマートひかり」の場合は標準サービスとして、全ての利用者間の通話が無料です。





### ③販売網の拡充



#### “FISソリューションズ”の規模拡大

- 営業人員の拡大⇒自社チャネルによる獲得強化
- “Smartひかり+WBI主装置”を主軸に据え、  
グループシナジーを追求



WBI

#### 製品の品質アップとラインナップ拡充

- アイ・イーグループとの販売強化
- 製造コスト見直しによる販売店への利益拡大支援



# 17期 課題 まとめ

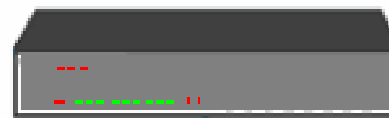
## ①注力サービスの強化

- 2waySmart
- Smartひかり

## ②震災によるマイナスの最小化

### オリジナルハード供給

- Smartひかり用ゲートウェイ
- SS2000
- CM5000



SS2000



CM5000

## ③販売網の拡充

- FISソリューションズの規模拡大
- アイ・イーグループとの連携強化



# 第17期 連結決算見通し

金額単位：百万円

	2010年 3月期 実績	2011年 3月期 実績	2012年 3月期 予想	対前期 増減額 (増減率)
売上高	13,956	13,560	14,000	439 3%
営業利益	347	391	430	38 10%
経常利益	327	391	430	38 10%
当期純利益	194	155	250	94 61%
配当金	1,500円/株	1,500円/株	1,500円/株	—





# 【付属資料】比較 連結貸借対照表

金額単位：百万円

	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
資産の部	6,397	6,345	△ 52
流動資産	4,407	4,562	155
現金及び預金	1,591	1,722	130
受取手形及び売掛金	2,321	2,276	△ 45
棚卸資産	138	137	△ 1
短期貸付金	102	130	28
繰延税金資産(短期)	44	89	44
その他	233	233	0
貸倒引当金	△ 25	△ 26	△ 0
固定資産	1,982	1,777	△ 205
有形固定資産	621	711	89
土地	437	437	-
無形固定資産	685	492	△ 193
のれん	479	312	△ 166
ソフトウェア資産	205	179	△ 26
投資その他の資産	675	573	△ 101
投資有価証券	159	99	△ 59
長期貸付金	225	170	△ 54
繰延資産	7	5	△ 2
資産合計	6,397	6,345	△ 52

	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
負債の部	4,386	4,426	39
流動負債	3,444	3,295	△ 149
支払手形及び買掛金	1,804	1,716	△ 87
短期借入金	832	584	△ 247
未払金	558	645	86
その他	249	348	99
固定負債	942	1,131	188
社債	500	500	-
長期借入金	168	284	115
退職給付引当金	106	113	7
その他	167	233	66

純資産の部	2,011	1,919	△ 91
株主資本	2,002	1,907	△ 94
資本金	542	542	-
資本剰余金	42	42	-
利益剰余金	1,418	1,323	△ 94
評価・換算差額	0	△ 1	△ 2
少数株主持分	7	12	5
負債・純資産合計	6,397	6,345	△ 52

# 【付属資料】比較 連結損益計算書

金額単位：百万円

	2010年 3月期	2011年 3月期	増減	備考
売上高	13,956	13,560	△ 396	セグメント参照
売上総利益	2,172	2,397	225	
販売管理費	1,824	2,006	181	販売管理費参照
営業利益	347	391	44	
営業外損益	△ 19	0	19	
経常利益	327	391	63	
特別損益	△ 7	△ 213	△ 205	当期：減損損失 △ 107 投資有価証券売却損△ 43他
税引前当期純利益	319	177	△ 141	
法人税等	125	20	△ 105	
少数株主損益	△ 0	1	2	
当期純利益	194	155	△ 39	

